

平成18年度行政評価結果(平成17年度実施事業)

	所属名称	H17決算 (単位:千円)	事務事業名称	事業 の 必要 性	事業 の 優 先 性	事業 の 経 済 性	事業 の 有 効 性	事業 の 公 平 性	合 計	事業説明	事業活動指標	評価結果の具体的理由	評価結果
1	教育総務課	314,336	私立幼稚園就園奨励事業	4	4	3	4	3	18	私立幼稚園に対する助成及び保護者の経済的負担を軽減し、私立幼稚園における教育環境の向上を促進した。 私立幼稚園児数 3,831人	私立幼稚園児数 3,831人	少子化対策の一環として維持していく必要があるため。	継続
2	教育施設課	63,021	小・中学校保護者負担軽減事業	4	4	3	4	4	19	教材教具購入に係る保護者の負担軽減を図り、教育の機会均等の確保と水準の維持向上を図るとともに、特色ある学校運営を推進した。 児童・生徒対象者数 18,623人	児童・生徒 対象者数 18,623人	保護者の教材教具に要する経済的負担を軽減するため。	継続
3	教育施設課	159,560	校舎・体育館改修事業	5	4	4	4	3	20	屋上防水・トイレ等の施設改修工事を実施し、安全かつ快適な学習環境を確保した。 整備棟数 4棟	整備棟数 4棟	快適な教育環境の中で学習ができるよう、整備をしていくため。	継続
4	教育施設課	422,900	体育施設整備事業	4	4	3	4	3	18	老朽化が目立つプール(南毛利・三田・清水小)の改修等を実施し、快適な学習環境を確保した。 整備校数等 3校	整備校数等 3校	学校体育施設の整備充実を推進していくため。	継続
5	教育施設課	163,089	体育館補強事業	5	5	4	5	3	22	体育館の耐震補強を実施し、児童・生徒の安全確保、災害時にも安全な避難場所の確保を図った。 整備校数 1校、委託数 5校	整備校数 1校	児童・生徒の安全確保、災害時における避難場所として、整備をしていくため。	継続
6	教育施設課	60,151	特別教室冷暖房設備設置事業	4	4	3	4	3	18	小学校図書室に冷暖房設備を設置し、児童が読書を楽しみながら、学習意欲を向上させることができる環境の整備を図った。 整備校数 11校	整備校数 11校	児童が快適に学習ができるように適正な室内環境の整備をしていくため。	継続
7	教職員課	22,898	小学校1年生35人学級実施事業	5	4	3	5	4	21	小学校1年生について、35人以下の学級編成制にすることにより、きめ細かな指導を展開し、児童が円滑に学校生活に適應することができた。 派遣教員数 9人	派遣教員数 9人	児童が学校生活に円滑に適應していくため。	継続
8	保健給食課	591,834	学校給食施設整備事業	5	4	3	4	4	20	南毛利・清水小学校に単独給食調理場を整備した。(累計9校開設)給食センターの老朽化及び国が定めた「学校給食衛生管理の基準」に対応することができた。	整備数 2校	小学校全校整備に向け、計画的に整備をしていくため。	継続
9	保健給食課	113	中学校給食調査研究事業	5	4	3	4	4	20	中学校給食の在り方を研究するため、委員会を設置し、実施に向けた調査・研究を行った。	-	中学校給食実施に向けた調査研究を実施し、平成19年度から実施する中学校給食に向け、具体的な準備を整えることができた。	完了
10	保健給食課	18,067	南部学校給食センター整備事業	4	3	3	4	3	17	老朽化した設備の改修や調理器具の交換等を実施し、安心・安全な学校給食を安定的に提供することができた。 1日の調理実数 5,900食	1日の 調理実数 5,900食	学校給食を安心・安全、安定的に実施できるよう、必要な調理環境の整備をしていくため。	継続
11	保健給食課	112,233	学校保健事業	5	4	3	4	5	21	学校医等の確保、健康診断の実施、学校薬剤師による環境衛生管理、学校事故見舞金の支給、医療費等の援助などを行ったことにより、児童生徒の健康保持増進、学校における保健管理・安全管理が図られた。 就学時健康診断受診数 2,203人	就学時健康診断 受診数 2,203人	児童生徒の健康管理、安全管理を図るため。	継続

	所属名称	H17決算 (単位:千円)	事務事業名称	事業 の 必要 性	事業 の 優 先 性	事業 の 経 済 性	事業 の 有 効 性	事業 の 公 平 性	合 計	事業説明	事業活動指標	評価結果の具体的理由	評価結果
12	文化財課	6,206	郷土資料館活動推進事業	4	4	3	4	3	18	郷土資料館収蔵資料の展示公開、各種講座の開催などを行い、厚木市の歴史、民俗、自然を紹介し、郷土への愛着を深めていただくことができた。 来館者数 8,260人	来館者数 8,260人	市民が郷土史や文化財を学習できる生涯学習の拠点施設として、郷土への愛着を深めていただくため。	継続
13	文化財課	2,853	遺跡保存事業	4	3	3	4	3	17	重要な遺跡や史跡を保存し、歴史や文化を明らかにするとともに貴重な文化遺産として後生に継承するための説明板を設置した。 設置箇所 6か所	設置箇所数 6箇所	遺跡・史跡の指定等と併せ、今後の方向性を検討する必要があるため。	見直し